2026 年 11 月 11 日

News Release

芙蓉総合リース株式会社
データライブ株式会社

ICT 機器の長期活用に向けた業務協定締結に関するお知らせ

～ICT インフラの長期活用を支援する新パッケージモデルの展開と、サーキュラーエコノミーの推進へ～

芙蓉総合リース株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長　織田 寛明、以下「芙蓉リース」）と、データライブ株式会社（東京都中央区、代表取締役社長　山田 和人、以下「データライブ」）は、ICT 機器の長期活用に向けた業務協定を締結いたしましたのでお知らせいたします。

1. 業務協定締結の背景と目的

近年、半導体やメモリ価格の上昇、およびサプライチェーンの変動等を背景に、企業におけるサーバー機器やネットワーク機器をはじめとする ICT インフラ設備において、従来よりも同一の設備を長期にわたり使用・運用するトレンドが定着しつつあります。

こうした市場ニーズの変化を捉え、リースビジネスで多量の ICT 機器を取り扱う芙蓉リースと、ICT 機器の第三者保守事業のリーディングカンパニーであるデータライブは、お客様の ICT インフラコストの最適化と資産の有効活用を支援すべく業務協定を締結するにいたりました。

2. 業務協定における主な取り組みと今後の構想

両社の強みを掛け合わせ、以下のサービス展開およびビジネス連携を進めてまいります。

- リース延長時の第三者保守付加パッケージの提供
  リース期間延長の際、メーカー保守終了（EOSL：End of Service Life）後も継続して機器を利用できるよう、データライブの第三者保守を付加した新しいパッケージモデルの提供
- リースアップ品のパーツ供給連携
  リース期間が満了した ICT 機器（リースアップ品）から安全にパーツを回収し、保守用部品を安定的に供給する体制を構築
- 中古 ICT 機器を活用した循環型サービスの展開
  高品質な中古 ICT 機器の調達からキッティング、導入、保守までをワンストップで提供するサービスの構築

本協定は、ICT 機器のライフサイクルを長期化させ、廃棄物を削減する、サーキュラーエコノミーの推進に資する取り組みです。芙蓉リースとデータライブは、今後も、環境負荷の低減と経済的価値の創出を両立させるサステナブルなビジネスモデルの構築に注力してまいります。

以上

■ 本件に関するお問い合わせ先
芙蓉総合リース株式会社 経営企画部 コーポレートコミュニケーション室
TEL：03-5275-8891

データライブ株式会社 経営企画部
メール：info-DL@datalive.co.jp
TEL：03-5684-5419